kkkk

第８分科会

経　営　課　題

概　要

１　研究協議題

　　時代の要請に応える学校経営の充実

２　趣　旨

　　平成28年４月に、「義務教育学校」と名付けた小中一貫校を国の制度に位置付ける学校教育法が改正された。このことから、今まで培ってきた小中連携の在り方を改善し、義務教育９年間を一体的に捉えながら、子供の成長と学習の連続性を重視した教育を行う必要がある。

また、障害者差別解消法の施行により合理的配慮は義務化され、特別支援教育の更なる充実が必要である。個別の教育支援計画、個別の指導計画などの情報の引継ぎを確実に行い、途切れることのない支援を提供することで、一人一人の能力の最大限の伸長を図ることができるインクルーシブ教育システムを構築することに注力しなければならない。

さらに、教師がこれまでの働き方を見直し、日々の生活の質や教職人生を豊かにすることで、自らの人間性や創造性を高め、子供たちに対して効果的な教育活動を行っていくことが重要である。このような今回の働き方改革の目指す理念を関係者全員が共有しながら、それぞれがそれぞれの立場でできる取組を直ちに実行していく必要がある。

こうした時代の要請に応えるために、校長はこれらの課題をしっかりと認識氏、使命感と明確なビジョンをもち、課題解決に向けて具体的な目標を定め、リーダーシップを発揮する必要がある。

３　研究の視点

A　義務教育９年間を一体的に捉えた学校経営の推進

　　　　　　　　　　　　　　　　　（埼玉）

B　インクルーシブ教育システム構築に向けた特別支援教育の充実

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（神奈川）